

会告

社団法人 日本設計工学会東海支部シンポジウム

21世紀の水素社会の幕開け — 「燃料電池」 —

日 時：平成15年5月30日(金) 13:00～16:20
会 場：名城大学理工学部11号館5階 特別教室

電話：052-832-1151

〒468-0073 名古屋市天白区塩釜口1-501
(地下鉄鶴舞線「塩釜口」下車徒歩5分)

趣 旨：2002年12月の世界初の燃料電池車実用化(トヨタ、ホンダ)で21世紀の水素社会到来が強く印象づけられました。21世紀の水素社会はどうか。技術進歩の速い時代に遠くを見通すことはできませんが、21世紀最初の20年間に展望し、来るべき水素社会への対応を考えてみましょう。

プログラム

(1) 13:00～14:00

「水素社会への架け橋としての燃料電池」
燃料電池開発情報センター 常任理事

筑波大学 名誉教授 本間 琢也氏

(2) 14:10～15:10

「トヨタの燃料電池自動車開発について」

トヨタ自動車株式会社 F C開発センター

F C企画室 室長 河合 大洋氏

(3) 15:20～16:20

「定置用燃料電池の現状と展望」

東芝インターナショナルヒュエルセルズ株式会社

プラント担当部長 奥村 実氏

定 員：150名

参 加 費：会員・協賛学協会員 4,000円、会員外 8,000円、学生
無料 (資料代を含みます)

申込方法：氏名、勤務先、所属学協会名、参加券送付先(含FAX番号)をご記入の上、当支部へ郵便、ファクシミリ、またはE-mailで5月23日(金)までにお申込み下さい。参加費の振込先等は、申込み受付後に連絡します。

申 込 先：(社)日本設計工学会東海支部

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 電子機械工学教室 気付 TEL&FAX
(052)789-2790

e-mail：t-jsdc@nuem.nagoya-u.ac.jp